

もあなキッズ自然楽校通信

vol.59 2025.6月



夏キャンプ参加者募集中!!



毎年大人気のもあなキッズ自然楽校の夏キャンプ、今年も開催します!

日帰りの自然体験活動との違いは、朝起きてから寝るまで海あそびに川あそび、仲間と遊びが続くところ! 3つのキャンプの中から、お子さまの学年や興味に合わせて選べます。お申込みをお待ちしております!

夏の冒険キャンプ

海と山が近く、川でも遊べる西伊豆で、川あそび、シーカヤック、スノーケリング、プール遊びなど、多彩な遊びを楽しめます。宿泊は小学校の校舎を再利用した「やまびこ荘」です。大自然の中で、好奇心や探究心を開放してみよう! 3泊4日、思いっきり遊びながら、生きものや環境のこと、仲間がいることの大切さ、そして自然とのつきあい方を、からだ全体で感じることができるキャンプです。

日程 2025年7月30日(水)~8月2日(土) 3泊4日

宿泊先 西伊豆町営 やまびこ荘(静岡県賀茂郡西伊豆町)

対象・定員 小学2年生~6年生・定員20名(先着順)

参加費 60,000円

スノーケルキャンプ

真鶴でスノーケルを使って海あそびをします。活動場所は波が穏やかな海岸。スノーケルは基本の使い方から始めるので、初めてでも安心! 海の世界スノーケルで楽しもう!

日程 2025年8月5日(火)~8月6日(水) 1泊2日

宿泊先 大和屋(神奈川県足柄下郡真鶴町岩607)

対象・定員 小学2年生~6年生

参加費 36,000円 + 別途、交通費2000円

海あそびキャンプ

小学校低学年が対象の海あそびキャンプです。波が穏やかな入り江で、磯遊び、波遊び、砂遊びを楽しめます。海岸の目の前にある民宿に泊まるので、着替えたらすぐに海へ! 自由に、たっぷり遊べるキャンプです。

日程 2025年8月7日(木)~8月8日(金) 1泊2日

宿泊先 大和屋(神奈川県足柄下郡真鶴町岩607)

対象・定員 小学1年生~3年生

参加費 27,000円

お申込みは
こちらから!





横浜市放課後児童クラブもあなのいえは、新1年生も加わり2025年度の活動が始まりました。外遊びを活動の軸にしているもあなのいえでは、週3回は近隣の緑道へ外遊びに行きます。子どもたちの遊びの様子をご紹介します。

ある日の外遊び、子どもたちが夢中になったのは春の生きもの探しです。虫がかくれているような場所を考え、見つけたのはダンゴムシ。捕まえると、オス・メスを見分けたり、ダンゴムシのお家作りで盛り上がったり。あっという間に時間は過ぎていきました。探し、見つけ、捕まえ、観察し、世話をする。子どもたちにとっては自然な流れのようですが、その中で「生きものの気持ちを考えること」「気づく力」「優しく接すること」などが、何気ないかたちで育まれているのではないかと感じました。



雨の日は、晴れの日とは違った遊びが展開されます。泥だまりを見つけたら、踏んでみたり、飛び跳ねてみたり、滑ってみたり。盛り上がってくると泥団子を作ったり、滑って転んでしまう子も。でも楽しんで遊んでいる子どもたちは、そんなことはお構いなし！全力で遊ぶのがもあなのいえの外遊びの魅力です。

今年の夏はもあなのいえで 思いきり遊ぼう！

もあなキッズ自然楽校が運営する放課後児童クラブ「もあなのいえ」は、夏休みなど長期休みの「ビジター利用」も可能です。ご興味のある方は無料体験にお越しください！無料体験では、お子さまの体験と、もあなのいえでの生活についてスタッフより丁寧にご説明いたします。



もあなのいえの日々の活動の様子はブログにて発信しています。是非ご覧ください！

SNSでも発信しています。フォローをお願いします！



2024年度「こどもスタディツアーin沖縄」を開催しました！

2025年3月25日(火)～28日(金)の4日間、沖縄にて「こどもスタディツアー」を開催しました。今回で3回目となる本ツアーには、2年生～6年生まで計6名の小学生が参加しました。少しでも現地での理解を深められるようにオンラインの事前学習会を3回行い、基礎的な知識を持って沖縄に向かいました。

1日目。那覇空港に集合した時、まだどこか緊張気味だった子どもたちも、活動地に到着して、海遊びが始まると表情は一気に開放的！夕食の買い出しをして、1日目を終える頃にはすっかり仲間になっていました。



2日目は琉球空手を体験しました。琉球空手の始まりの歴史や沖縄文化との繋がりを学んだ後、「ナイハンチ初段」という型を先生に教えてもらいました。子どもたちの真剣な眼差しが印象的でした。



午後からは子どもたちが楽しみにしていたスノーケリングです。マリンスポーツ用品の老舗メーカーである株式会社キヌガワさんに

機材提供などのご協力をいただきました。基本的なスノーケルの使い方を学んだ後、海へ。初めて見る沖縄の海中世界に「うわあ！」という驚きの声水面から漏れ聞こえてきます。特に印象的だったのは、グルクマという名前の魚の群れと出会った時の感動の瞬間。大きな口を開けて泳ぐその姿に、子どもたちは釘付けでした。



いるという話を聞きました。サステナブルな取り組みに触れ、「これってSDGsだよな！」と学校での学びと結びつける声も聞こえてきました。その後は地元で養蜂をしている方を訪問したり、沖縄の三線の歴史や作り方を教えてもらったりと、盛り沢山な一日となりました。



4日目最終日は、糸満市にある沖縄平和記念資料館を訪問しました。展示物をみた子どもたちからは、時折「怖いね…」「悲しい…」とつぶやく声も聞こえました。説明を聞くうちに、次第に真剣な表情になり、最後には「なんで戦争するの？」「平和って大切だね」と、それぞれの想いを口にする子どもたちの姿がありました。



こうして3泊4日のスタディツアーが終わりました。子どもたちは沖縄の自然や歴史と真摯に向き合い、多くの気づきを得ることができました。環境問題から伝統文化、そして平和の尊さまで、様々な学びを通して子どもたちの視野は確実に広がったことでしょう。

3日目は、恩納村にある学習センターで、サンゴの保全活動についての学び。大雨が降ると畑の赤土が海に流れ出て、サンゴが白化したりと、生態系に影響を及ぼすため、畑の縁にイネ科の植物を植えて、土が流れ出るのを防いで



「こどもスタディツアー」の活動の様子はこちらのブログよりご覧いただけます ▶

